

シリーズ No.4 **議員事業所紹介**
第24期新任議員事業所をシリーズで掲載します。

有限会社 オンダ楽器 佐野市若松町90
☎ 22-3747
地域社会に音楽文化を提供する



昭和36年、ヤマハの特約店として若松町(現ビートボックス店)に開業致しました。その後、浅沼町に郊外店として「ハーモニプラザ店」を開業し今日に至っています。開業当時は、オルガンや低価格の楽器が少し売れた時代でした。昭和40年代の後半くらいからピアノが売れ出し、50年代からはエレクトーンも発売されました。その頃からヤマハ音楽教室に通われる生徒さんが増加し、学校ではバンドが盛んになってきました。現在では、お客様の好まれる楽器も多様化しています。音楽教室も色々なコースを設けて、多くの方のニーズにこたえようと努力しています。さらに防音の相談にも対応できるようにしています。(写真は恩田社長)

佐野商工会議所 新入会員大募集!
全国524商工会議所のネットワークを活かし、万全のバックアップ体制で中小企業を応援します。
お問い合わせは(02-2551-1155) 一(一)ま(ま)あ(あ)げ(げ)る(る)。



広がれ技術交流の輪

佐野・足利・桐生・太田・館林の五市と五市商工会議所で運営する「両毛地域産業イノベーション協議会」は、三月十一日(金)・十二日(土)の二日間、「両毛地域産業技術展2005」を開催する。

両毛地域産業技術展に 三福工業と東輝が出展

3/11(金)・12(土)

この技術展は、市・県境を越えた両毛五市域における中堅・中小企業の製品開発力の強化や市場の拡大等を図る目的で行われ、今年が三回目。
佐野からは三福工業(株)と東輝の二社が出展、いずれも優れた技術・試作品・製品等を展示し、その力をアピールする。
その他、期間中には関東経済産業局地域経済部長や富士重工(株)スバル原価企画管理本部長による基調講演も行われる予定。
会場は(株)ぐんま産業高度化センター・群馬県立東毛産業技術センター。入場無料。開催時間は午前10時から午後四時三十分まで。
お問い合わせは当所 ☎(二二五五一)へ。(村野)



金融税務委員会

会員を融資面から経営支援 「会員向けビジネスローン」創設へ

当所では、二月九日(水)に平成十六年度第三回金融税務委員会(篠崎勝宏委員長)を開催、十一名の委員が出席した。
今回は、佐野商工会議所「会員向け特別融資制度(ビジネスローン)」事業について協議し、全員異議なく了承した。
同事業は、会員事業所の発展を融資面から経営支援するため、小規模企業を対象としたマル経融資や公的融資の紹介・斡旋等に加え、新たに民間金融機関の当所会員向け優遇商品を紹介し、マル経対象である規模を超える中小企業にも資金調達の円滑化を図り、更なる事業発展を支援することを目的としている。

OB人材活用事業推進中!

企業の経営改善を支援します
「マッチング事業」
人材登録 及び 支援申込みを
ただいま募集しています!
お問合せ
企業等OB人材マッチング栃木協議会
佐野商工会議所 ☎.22-5511
ホームページにて情報公開中
<http://www.ob-tochigi.net>

生命共済加入で ギフト券が当たり前!
昨年末の生命共済加入促進キャンペーン中には、た
うれいでしたと
水野さん

今後、市内に本支店を有す全金融機関に対し説明会を開き、四月一日から実行を予定している。(金尾)

差し上げました。
その中のお一人、水野陶器の水野正三さん(久保町)は「当選にはびっくりしました。うれしいです」と喜んでる。
この生命共済制度は、一口一五〇〇円から加入でき、業務上・外を問わず保障が可能です。ぜひご利用ください。(金子)

県青連創立10周年記念 情報交流プラザ開催
二月五日(土)、栃木県商工会議所青年部連合会創立十周年記念平成十六年度情報交流プラザが大田原市「いわいや」で盛大に開催された。県内各地のYEG
約百名が集まり、当青年部からは、恩田会長をはじめとする五名が参加した。
当日は、栃木県知事、大田原市長など来賓や主催者である栃木県商工会議所青年部連合会長他多数が出席し記念式典が行われ、県青連十年のあゆみ等報告され盛大な催しとなった。
記念式典終了後、記念講演として、那須大学学長の須賀英之氏から「環境共生型のまちづくり」、記念独演会として、落語家の金原亭馬生師匠の「古典に学ぶ人情商売」がそれぞれ行われ、出席者は熱心に聴講した。(金尾)

都心の大規模複合ビルに感心 サービス業部会視察研修会
丸の内オアゾは昨年九月にオープンし、商業ゾーン・オフィスビル・ホテルなどから成る複合施設。中でも丸善書店は蔵書数約百二十万冊と国内最大級のものであり注目を浴びている。午後から訪れたコレド日本橋は、昨年三月に東急百貨店の跡地に建てられた複合ビルで、个性的かつ魅力溢れる三十三のテナントにより構成されている。

新分野進出のノウハウを学ぶ 建設部会セミナー
参加者は、都市機能が凝縮した三つの複合ビルを目の当たりにし、都心の大規模な再開発に感心していた。(茂木)

当所建設部会(落合喜行部会長)では二月十八日(金)、ホテルマリアージュ(金)において、「他産業に学ぶ新分野進出」勝ち続けるための「右脳型経営」と題し、(株)建設経営サービス事業部係長の滝口兼悟氏を迎え、講習会を開催した。
昨今の、公共工事の減少に伴い、地域経済を支える建設業界はますます厳しい状況を迎えていることから、他産業における新分野進出事例を参考に建設業界の生き残り策について、出席者五十名が講話を聞いた。
その後、亀田会頭も参加し懇親を深めた。(青木)